

マルセル・カルネ

Marcel Carne

生年月日 1909/08/18

出身地 フランス／パリ

没年 1996/10/31

【バイオグラフィ】

■保険会社に勤めるかたわら映画の勉強をし、28年に撮影助手となる。30年にルネ・クレール監督の下で「巴里の屋根の下」で助監督デビュー、36年に「ジェニイの家」で念願の監督となった。この作品以後は、詩人でもあった脚本家ジャック・プレヴェールとのコンビによる作品が続き、“詩的リアリズム”と評される名作を世に送り出した。46年の「枯葉／夜の門」を最後にプレヴェールと決別してからは作品が低迷した。代表作は「悪魔が夜来る」、「天井桟敷の人々」、「嘆きのテレーズ」などがある。

【フィルモグラフィ】

| | |
|-------------------|--------|
| 若い狼たち (1967) | 監督, 脚本 |
| マンハッタンの哀愁 (1965) | 監督, 脚本 |
| 広場 (ひろっぱ) (1960) | 監督, 脚本 |
| 危険な曲り角 (1958) | 監督, 脚本 |
| 遙かなる国から来た男 (1956) | 監督 |
| われら巴里っ子 (1954) | 監督, 脚本 |
| 嘆きのテレーズ (1952) | 監督, 脚本 |
| 愛人ジュリエット (1951) | 監督, 脚本 |
| 港のマリィ (1949) | 監督 |
| 枯葉 ～夜の門～ (1946) | 監督 |
| 天井桟敷の人々 (1945) | 監督 |
| 悪魔が夜来る (1942) | 監督 |
| 陽は昇る (1939) | 監督 |
| 霧の波止場 (1938) | 監督 |
| 北ホテル (1938) | 監督, 脚本 |
| おかしなドラマ (1937) | 監督 |
| ジェニイの家 (1936) | 監督 |
| 外人部隊 (1933) | 助監督 |